

<出席者>

[外部委員]

古川 雅英 新潟県菓子工業組合 専務理事
三島 茂 新潟県司厨士協会 名誉会長
神子島 真 株式会社神子島製作所 専務取締役
山岸 貴 中央会計 代表社員 所長
伊藤 佑二 御料理 京相模

[学校委員]

渡辺 忠雄 (理事長)
渡辺 弘子 (学園長)
出塚 彩 (校長)
阿部 正一 (教頭)
紫竹 武 (統括本部長)
鈴木 潤 (実習統括部長)

[事務局]

堀 慶
渡辺 真理子

▶開会の挨拶 (理事長)

3月の学園祭を経て卒業式を向かえ、良い思い出を残して旅立っていった
令和6年度が無事に終わって新しい年度が始まるが、またご協力と応援をお願いしたい

○副委員長 (神子島委員) 挨拶

議論をする場によく出席するが、目的が大事だと思う

ここでの議論が生かされるかどうか、ここでの議論が具体的でないと活かしにくいものになるので、実りある議論ができたらと思う

▶令和6年度学校評価 結果報告 (出塚)

自己評価結果

- (1) 教育理念・目標 きちんと周知できていると思う
- (2) 学校運営③ 前年度が3.8と低めだったところ、回復している
- (3) 教育活動② カリキュラムの内容に職員が対応していると言える
- (4) 学修成果 ①人で不足のあおりもあり、学生の就職率は100%を継続できている
- (5) ⑦保護者が学校へ来る機会を増やし パティスリー実習など このような結果につながったと思う
- (7) 学生の受け入れ募集 ③他校から見ても学納金が高いということはない 金額が妥当であるという認識なのでは 物価高も影響している

(8) 財務 全項目が低かったところから高くまで上がった
職員研修を経て、試算表を見せながら財務状況が安定していることが伝わった結果

(10) ①地域と連携してさまざまなことに取り組んでいきたい

▶委員評価結果

ご意見・ご質問に対する答え

現場の方からの声や実際の時代の流れを考慮し、今おかれている状況を授業へ反映する取り組みをしていきたいと思う

災害などの安全対策について

・消防と連携してこれからも定期的に避難訓練をしていく

・クラスルームでは一斉連絡を日頃から行っているが、安否確認として安全な場所にいるか否かといった返信機能が十分ではなかった。迅速に確認のとれる機能を検討したい

▶令和6年度の学校運営、取り組みについて(阿部)

週に一度部長会を実施し、職員へ情報共有を行っている

教職員が学生1人1人に寄り添った指導を心がけ、単に専門的な技術をつけるだけではなく、自由な発想でアイデアを出すことを目標としている

様々なコンクールに参加し、多くの表彰を受けている

クリスマスマーケットや学園祭の行事では販売スキル・お客様とのコミュニケーション、設営にあたり、学生が一生懸命取り組んだ結果、大変多くの来場者を迎え成功に終わった

保護者との連携

7月の保護者会→授業参観

2月の保護者会カフェ・レストランの開催→卒業年度4クラスの特色を活かした運営で学びの成果を発揮した

今後も学生の成長過程を共有し、保護者との連携を図っていきたい

進路

学生1人1人の理解が深まり、進路相談やキャリアマップを活用し進めてきた
年末12月には学生に研修の機会を設けた

▶来年度の重点目標(学園長)

令和6年度の活動内容は概ねそのまま継続したいと思うが、特記すべきことを述べたい

- ・国内旅行は喜ばれていたが、コロナも明けて数年立つので海外研修旅行も取り入れたい
イタリアで開催されるジュニアカップの見学も

▶質疑応答

（三島）子どもが県外に行く際、寮があるか無いかは大きな判断材料になる。
特に女性は、親御さんにとって心配する要素になる。もっと打ち出していくと良い

。（古川委員）アンケートを見ても職員の自己評価が目に見えて良くなっている

（学園長）
税理士さんに説明をしてもらう機会を作ったことは非常に効果的だった

（山岸委員）
独自の理念を持ち、それを続けていくことが大切だと思う

（伊藤委員）
芸術鑑賞は良いことだと思う。京都にいたころには料理長には器やいろいろ美しい物を見て、センスを養うように言われていた。学校で機会があるのは良いことだと思う。

（神子島委員）
広報的に、有名な人とのコラボやバズっているものを取り入れる、Youtube動画やTikTok動画を学生に広めてもらう…といった、まずは知ってもらうことをやる

▶閉会の挨拶（阿部）委員のみなさんから貴重なご意見をいただきました、的確な視点をいただいた。学校の未来をいっそう作らなければならないと感じた。